

## 阪倉篤秀教授 略歴と主な業績

### 略歴

- 一九七三年三月 関西学院大学文学部史学科（東洋史学専修）卒業
- 一九七五年三月 関西学院大学大学院文学研究科修士課程（日本史学専攻）修了
- 一九七八年三月 関西学院大学大学院文学研究科博士課程（日本史学専攻）単位取得満期退学
- 一九七八年四月 関西学院大学文学部助手
- 一九八〇年四月 関西学院大学文学部専任講師
- 一九八二年四月 関西学院大学文学部助教授
- 一九八八年四月 関西学院大学文学部教授
- 一九九八年四月 関西学院大学文学研究科博士課程前期課程指導教授
- 二〇〇〇年四月 関西学院大学文学研究科博士課程後期課程指導教授
- 二〇〇五年四月～二〇〇七年三月 関西学院大学文学部長
- 二〇〇七年四月～二〇一六年三月 学校法人関西学院 常任理事
- 二〇一三年四月～二〇一六年三月 関西学院大学副学長
- 二〇一八年三月 関西学院大学文学部教授を定年退職

学会活動等

東洋史研究会、東方学会、中国社会文化学会、中国南京鄭和学会会員

主な業績

単著・主編著

『明王朝中央統治機構の研究』

汲古書院、二〇〇〇年二月

『長城の中国史』

講談社、二〇〇四年一月

『さまざまな角度からの中国論』（主編）

晃洋書房、二〇〇三年三月

論文

明初中書省の変遷

『東洋史研究』三六一一、一九七七年六月

建文帝の政策

『人文論究』二七―三・四、一九七八年三月

明朝成初期における行中書省について

『人文論究』三〇―四、一九八一年三月

武宗朝における八虎打倒計画について

小野和子編『明清時代の政治と社会』京都大学人文科学研究所、一九八三年三月

明代通政使司の設置とその変遷

『関西学院史学』二一、一九八五年三月

成化元年における散館請願について―明朝庶吉士制の検討―

『東洋史研究』四六一三、一九八七年二月

製籤法と吏部尚書孫丕揚

岩見宏・谷口規矩雄編『明末清初期の研究』京都大学人文科学研究所、一九八九年三月

徐溥の庶吉士制改革案

『関西学院大学文学部創立百周年記念文学部論集』、一九八九年一月

寧王宸濠の乱―明朝諸王分封制の一齣―

『明代史論叢編集委員会編』山根幸夫教授退休記念 明代史論叢 汲古書院、一九九〇年三月

成化期における吏部権限縮小論

『関西学院大学文学部東洋史学研究室編』アジアの文化と社会 法律文化社、一九九五年三月

洪武朝初期の吏部（一）、同（二）

『人文論究』四六一―一、三、一九九六年五月、一二月

吏部尚書蹇義とその時代

『東洋史研究』五六―四、一九九八年三月

関于洪武一八年吏部尚書余煥受誅問題的研究

『史学集刊』一九九八―二、一九九八年五月

余子俊と辺牆―明代における「長城」修築の転換点―

『関西学院創立一一一周年文学部記念論文集』、二〇〇〇年一二月

永楽一二年の解職赴京をめぐる

『関西学院史学』二八、二〇〇一年三月

永楽中盤期における南京・北京の旅路―楊士奇「北京紀行六録」を素材として―

『関西学院史学』三一、二〇〇四年三月

東亞共同体与日中関係の歴史及未来

『史学集刊』二〇〇五―二、二〇〇五年四月

内閣大学士費宏―三度の入閣を巡って―

追悼記念論叢編集委員会編『山根幸夫教授追悼記念論叢 明代中国の歴史的位相』汲古書院、二〇〇七年六月

琉球王国の首里城

『史学集刊』二〇一一―一、二〇一二年一月

## 書評

川越泰博（著）『明代中国の軍制と政治』（国書刊行会）

『史学雑誌』一一二―一八、二〇〇三年八月

## その他

ヨーロッパ人の中国渡来

大澤陽典・大庭脩・小玉新次郎編『アジアの歴史』（法律文化社、一九七八年二月）第四章一

元末の民衆反乱（檀上寛と分担翻訳）

谷川道雄・森正夫編『中国民衆反乱史 2』平凡社、一九七九年三月

『平凡社大百科事典』平凡社、一九八五年

項目執筆「韓林兒」「五軍都督府」「胡惟庸」「胡藍の獄」「張士誠」「陳友諒」「徐達」「明玉珍」  
明太祖朱元璋的一封家書（日本文名「明太祖朱元璋の一通の手紙」）

中国の大学教育改革の現状とその方向性（翻訳、孫傑生 原著）

『南京史志』総四六・四七、一九九一年五月

長城をめぐる攻防（三）―明

『人文論究』四六―二、一九九六年九月  
『月刊 しにか』八一―二、一九九七年二月

万里の長城

『Newton（特集「三千年の歴史を経て、いま北京」）』二〇〇八一―九、二〇〇八年九月